

日産 e-NV200 貸与式を開催しました

日産自動車は地球温暖化対策として実施している「EVをもっと身近に！プロジェクト／電気自動車活用事例創発事業」のモニターに鳴門市企業局が選ばれました。

日産自動車株式会社から本市企業局に、電気自動車「e-NV200」が3年間無償で貸与されることとなり、平成28年2月15日（月）、鳴門市水道会館において「e-NV200」貸与式を開催しました。

この「e-NV200」は、多目的商用バンの電気自動車であり、室内の広さや多用途性に、滑らかな加速と静粛性を兼ね備えたモデルです。また、最大1,500Wの電力を供給するパワープラグによって屋外での電源供給が可能となり、走る蓄電池として、さまざまなシーンに役立てることができます。

貸与していただいた電気自動車は、水道工事の夜間作業や災害時に、資機材の移動や移動式電源として活用したいと考えております。

貸与式の様子



(写真左) e-NV200 の全体写真



(写真右) 貸与式の状況

左：徳島日産自動車（株）代表取締役社長田村文彦様、右：山内秀治企業局長